

JONNY WILKINSON

WORLD
CUP WINNING STAR

イングランドの元ラグビー選手。元イングランド代表のスタンドオフ（フライハーフ）。サリー州フリムリー出身。2014年5月31日の試合を最後に引退。

歴代最多のワールドカップ通算277得点（1トライ、28コンバージョン、58ペナルティゴール、14ドロップゴール）を記録するなど、2000年代のラグビー界を代表するスター選手だった。クラブでも活躍し、所属チームのRCトゥーロンをフランス・チャンピオンに導いた。

1998年4月4日、18歳でイングランド代表デビュー。翌1999年にはラグビーワールドカップに出場。2000年のシックス・ネイションズでは主力としてプレーし、同年と2001年のイングランドの連覇に貢献した。

2003年のワールドカップでは大会を通じて大車輪の活躍をみせた。準決勝のフランス戦では自身のキックだけで23点を記録し、28対17での勝利の立役者となる。オーストラリアとの対戦となった決勝では延長残り30秒からドロップゴールを決め、チームを優勝に導いた。この大会ではドロップゴールやペナルティゴールなどキックのみで113点をたたき出し、トライを獲らずに得点王に輝いた。また、イングランドの得点の8割がウィルキンソンのキックから生まれたものであった。

2004年には代表での活躍により大英帝国勲章を授けられ、ローレンス・ダラーリオに代わる代表の新キャプテンに指名された。

2007年のシックスネイションズにおけるスコットランド代表戦では27点を記録（内訳は1トライ、2ゴール、5ペナルティゴール、1ドロップゴール）し、42対20での勝利に貢献し、復活を印象づける。続くイタリア戦では15点を挙げ、シックスネイションズでの通算得点を歴代最多となる421点に伸ばした。

ジョニーの講演にご興味のある方は、
ジャパン・スピーカー・ビューロー(03-3216-7227)
(info@japanspeakerbureau.com)までご連絡下さい。

